

市報やまぐち

2025

9/1

September
No.463



特集	子どもから大人まで 笑顔あふれる居場所づくり	2
特集	中学校部活動を地域クラブ活動へ	4
特集	便利でおトクな公共交通	6
	■ 未来へ紡ぐ合併の足跡～ 20年の歩みと次なるステージ～	8
	■ 山口市誕生 20 周年記念式典	9
	■ 県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	9
	■ 市政トピックス	10
	■ イベントカレンダー	12

子どもから大人まで 笑顔あふれる 居場所づくり



地域に暮らす誰もが

一緒に時間を過ごせる「こども食堂」。

食事をするのはもちろん、

お話したり、遊んだり…

「こども食堂」を通して

いろいろな“つながり”が生まれています。

問 こども未来課 ☎ 083-934-2756

こども食堂ってどんなところ？

こども食堂とは、子どもが一人でも安心して、安価または無料で利用できる食堂のことです。

現在、本市には32カ所あり、子ども向けの食事の提供はもちろん、多様な学びや体験、地域の見守り機能を果たし、誰もが利用できる「多世代交流の場」としても親しまれています。

「私の居場所」をつくりたい
私たちは、子どもをはじめとした、地域みんなの居場所づくりに取り組んでいます。「子どもに對しては、ご飯を食べたり、お話をしたり、勉強をしたりす

沙羅の木では、「コミュニティはうすみらい」において、子どもの第三の居場所を運営し、その活動の一環として、子どもたちのための「IBS食堂」やご近所さんとのつながりを生み出す「みらい地域食堂」等を小郡地域に展開しています。

材調達などの難しさに直面す

支援のおかげで
実現できる

食堂を運営する中で、食
場」 「親に對しては、子どもとご飯を一緒に食べたり、子育ての悩みを相談したりする場」をつくることで、地域コミュニティの輪を少しでも広げていきたいです。これまで食堂に來られた地域の方から「ここは私の居場所よ」という言葉をいただいたときはとても嬉しかったです。誰もが気兼ねなく立ち寄れる環境づくりに力を入れています。



コミュニティはうすみらい
小郡新町6丁目4-12
☎ 083-963-9107
活動日：毎月第4日曜

社会福祉法人 防府海北園
母子生活支援施設
沙羅の木
加藤 美和子 さん

私たちは運営する食堂には、食事を楽しむ方だけではなく、「地域コミュニティに参加したい」と思われる方にも来ていただきたいと考えています。壁のない開放的な空間なので、気負いせず、お喋りに行こうかな、相談にのってもらおうかなといった「自分なりのスタイル」で立ち寄っていただければと感じています。そうやって、子どもも大人もいろいろな人と関わるうちに、自分の住むまちを好きになってもえたら嬉しいです。

自分なりのスタイルで

ることもあります。何人もの地域の方々に食事を提供するには、運営費だけでは間に合わないため、企業へ食料支援のお願いにも行っています。最近、生活用品や食器、制服など、暮らしを支える品も寄付いただけるようになり、非常に助かっています。このような支援のおかげで食堂は成り立っていますし、応援してくださる方の存在が私たちの励みになっています。

みらい地域食堂 利用者の声



「みらい地域食堂」では、食事はもちろん、一緒に調理したり、シャボン玉で遊んだり、いろいろな経験ができるので、子どももとても楽しんでいます。利用者が増えて、子ども同士、保護者同士の輪が広がればと感じています。



子どもしか利用できないと思っている人が多いため、もっと利用者の幅が広がればと感じています。子どもたちと「みらい地域食堂」で知り合うことで、外で出会ったときに挨拶を交わせるなど、関係構築のきっかけになるのが嬉しいです。

山口市こども食堂ネットワークを発足！

市内のこども食堂が共同して、子どもたちにとって居心地の良い地域の居場所を充実・普及させるために、こども食堂間の交流や連携を促進する「山口市こども食堂ネットワーク」が、昨年12月に発足されました。

具体的な活動内容は…

連携促進



行政や商工業者（スポンサー）、食材の生産者等との連携体制の構築や支援体制づくり

寄付等の受入促進



個人や企業等からの寄付の受け皿となり、市内のこども食堂へ効率的に配分

普及啓発



小・中学校等へのニューズレターの配布やイベントの開催による周知活動

交流・研修



こども食堂間の交流や研修会（衛生管理やボランティア対応等）の実施、こども食堂の新規開設・運営のサポート

本市も、「山口市こども食堂ネットワーク」が取り組む、交流会・研修会・イベント等の開催支援や、市の広報番組等を活用した情報発信を行うことで、こども食堂を広めたり、市民の皆さんや企業等からの寄付の拡大を図ったりと、こども食堂の安定した運営や新規開設につなげていきます。



◀ 市政番組「このまちに愛たい」で、こども食堂についてご紹介しました。

message

地域みんなで支え合う

家庭によってさまざまな事情があると思いますが、そうした家庭を地域で見守ることで、子どもたちが安心して、将来に希望を持って成長できるよう、子どもたちを支える活動に取り組んでいます。

なかでも「こども食堂」は、一緒にご飯を食べたり、大学生に勉強を教えてもらったりと、子どもたちにとって多様な体験や交流ができ、親にとっても安心してゆっくりできる場です。また、元気な子どもたちの様子が大人の方が元氣をもらえ、今では地域の活性化にも一役買っています。

このような、地域のインフラともなりうる市内の「こども食堂」同士を結びつける、「山口市こども食堂ネットワーク」が昨年発足しました。こども食堂それぞれが抱える悩みを共有して解決策を見つけていく、助け合いの環境が生まれています。こども食堂をより安定的に運営できるよう、これから事務局が主となって、市と連携しながら尽力していきます。



山口市こども食堂
ネットワーク事務局
こだまよりゆき
児玉 頼幸 さん

中学校部活動を地域クラブ活動へ

～地域で守る、子どもたちの活動の場～

令和8年9月、本市では将来にわたって、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむことができる環境を確保できるよう、家庭や学校を含めた地域と連携し、本市が設置・運営する地域クラブ活動をスタートします。 問部活動地域移行推進室 ☎ 083-934-2672



山口市の地域クラブ活動とは

令和8年9月から、山口市の地域クラブ活動は以下のように変わります。

運営	学校	▶▶▶	これから市
設置単位	学校ごと	▶▶▶	中学校区ごと
指導者	主に教員	▶▶▶	指導を希望する市民等
場所	中学校	▶▶▶	中学校
活動頻度	週3～5日	▶▶▶	週3日（平日2日・休日1日）

Q & A

山口市の地域クラブ活動について、よくあるご質問にお答えします。

どうして部活動がなくなるの？



部活動はこれまで、学校や教職員、生徒の自主性で運営されてきました。しかし、急速な少子化による生徒数の減少や学校の働き方改革など、社会情勢が大きく変化する中、学校部活動をこれまでと同様の形で存続することが難しくなっています。そこで、全国の自治体で、部活動の地域移行がさまざまな形で進められています。

どんな競技・種目があるの？



今ある部活動の競技・種目等を可能な限り設置します。地域特性や部員数、活動状況、参加者のニーズなどを考慮して検討します。

会費負担はあるの？



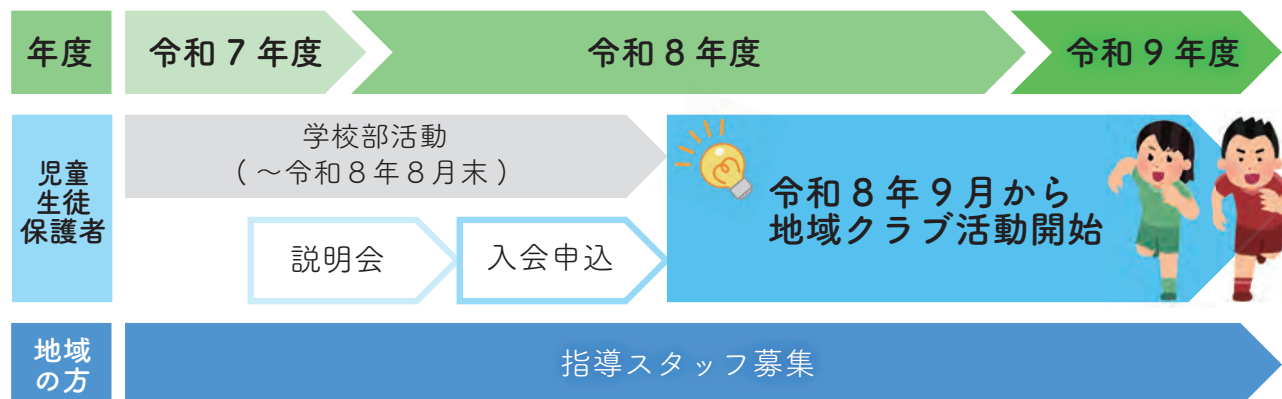
地域クラブの活動に係る経費は、受益者負担として会費が発生します。市は、国から提示される「受益者負担と公的負担のバランス等の費用負担の在り方」「受益者負担の金額の目安」をもとに、公費負担や会費額を検討し、決定する予定です。

本市の地域クラブ活動に関する詳しい内容はこちらから▶



今後のスケジュール

令和8年9月の移行時期を見据えて、以下のとおり進めます。



※令和8年度の中学3年生が引退する最後の活動まで部活動を継続します。
 ※令和8年9月以降に大会・コンクールがある場合等、活動状況によっては、柔軟に対応します。

指導スタッフ募集について

子どもたちの活動の場を守るために、指導スタッフになりませんか？
学生の方や指導資格をお持ちでない方も大歓迎！

対象

- ・スポーツ、文化芸術活動の指導経験がある方
- ・競技、種目等の経験があり指導に興味がある方
- ・指導や競技・種目等の経験はないが、活動の見守りは可能な方

＼応募は週1日からでも可能！／

活動詳細

- ・活動日：週3回（平日2日、休日1日）
- ・活動時間：平日は放課後から19時までの内、2時間以内
 休日は8時から17時までの内、3時間以内
- ・報酬：時給制



流れ



◀ 募集要項等
詳細はこちらから



◀ 登録申込は
こちらから



部活動では、授業や学級内での活動とは異なる、さまざまな思いが育まれてきました。本市では、部活動を地域クラブ活動へ移行し、子どもたちの活動の場を守るだけでなく、本市に暮らす多くの市民の方がさまざまな形で地域クラブ活動に関わることで、子どもたちの地域クラブ活動の思い出や地域への愛着が、シビックプライドとして心に刻まれる。そんな取り組みとなることを目指しています。
 皆様のご応募をお待ちしております。

便利でおトクな公共交通

市内を走る鉄道やバス、タクシーといった公共交通は、私たちの日々の通勤や通学、買い物の際の移動手段として、生活に欠かせない大切な社会基盤です。

しかし、近年では、利用者の減少や運転士不足などの影響により、市内でもバスの減便や路線の廃止が行われており、公共交通が「走っているのが当たり前」ではなくなっています。こうした減便等は、マイカーなどの移動手段を持たない子どもたちや学生、高齢者に大きな影響を与える可能性があります。

今はマイカーだけで十分という方も、いずれ公共交通を必要とするときが来ることを見据え、今からマイカーと公共交通を賢く使い分ける生活を始めてみませんか？ 皆さん一人一人が月に数回、公共交通を利用することで、公共交通を守り育てることが可能です。

今回は、意外と便利でおトクな市内公共交通についてご紹介します。

問 交通政策課 ☎083-934-2729



公共交通は便利！

①



②

それなら路線バスがオススメ！

「湯田温泉バス停（防長交通・JRバス中国）」からは、徒歩6分！

「湯田温泉6丁目バス停（市コミュニティバス）」からは、徒歩4分です！



※ YCAM や中心商店街へ行くのにもおすすめです！

③



④

新山口駅から県庁間を走る路線バスであれば
日中はおおよそ **20～30分** に **1本** 運行しています！
また、バスロケーションシステムでは
バスが今どこにいて、いつ来るかが分かります！



⑤

知らなかった！
意外と便利だね！
みんなでバスで
お出かけしよう！



路線バスは交通系ICカードで気軽に乗車！

交通系ICカードは、バスに設置された読取装置にタッチするだけで支払いができ、小銭を気にする必要がありません。バスのほか、鉄道の一部の駅やタクシーでも利用でき、交通系ICカードのマークがある店舗や自動販売機でも、電子マネーとして利用できます。

このように交通系ICカードは、公共交通の利用やお財布代わりとして利用でき、とても便利です！

市内全ての路線バスで、運賃の支払いに次の
10種類の交通系ICカードが利用可能です！



※市内の鉄道では、JR山陽線全線およびJR山口線の新山口駅、湯田温泉駅、山口駅で利用できます。

マイカーと公共交通～使い分ければ意外とおトク！？～

公共交通は、乗車した際の運賃負担のみかかりますが、マイカーは車両購入代金をはじめ、ガソリン代や自動車税、保険料、車検代、駐車場代等の維持費が **1日あたり約2,000円** もかかります。1年間で計算すると **約70万円** の支出となります。

近年では、複数台のマイカーを所有している家庭が多いですが、マイカーの所有台数を1台減らし、マイカーと公共交通を賢く使い分けただけで、家庭の支出を減らすことができます。

今一度、家庭でのマイカー利用を見直してみませんか？

軽自動車を1台所有する場合

マイカーの年間維持費約 70 万円 /



約2,000円/日

路線バスを利用する場合
(大歳バス停⇄湯田温泉バス停)



420円 (1往復)

JR 山口線を利用する場合
(大歳駅⇄湯田温泉駅)



300円 (1往復)

マイカーを所有すると、意外と多くの維持費がかかりますね。一方、公共交通はマイカーの維持費と比較すると、おトクに利用できる可能性があります。2台目のマイカーの購入や買い替えを検討される際には、公共交通と比較してはいかがでしょうか？



市交通政策課調べ

さらに公共交通を便利に!! 楽しく!!

シェアサイクルで、さらに便利に!

山口・湯田温泉、小郡エリアにある駅やバス停、観光施設、商業施設、大学等の **44カ所** にサイクルポート（駐輪場所）を設けており、**24時間** 利用できます! ご利用は専用アプリから!



▲アプリのダウンロードはこちら

【普通自転車】

最初の30分 100円 (以降10分ごと50円)
※8時間未満上限 1,500円

【電動アシスト付自転車】

最初の30分 200円 (以降10分ごと100円)
※4時間未満上限 1,500円

利用料金

かんたんタクシー配車!

やまぐちTAXIアプリ

市内のタクシー登録車両数 No.1!

市内を走る一番近くのタクシーを

ワンタッチで予約できます。

また、タクシーの所在地や到着予定時刻が分かり安心です。



▲アプリおよびLINE友だち登録はこちら

親子でバスに乗ってバス博士になろう!

まちなかクイズラリー

「おでかけマップ」に記載のあるバス停で降りて、クイズに解答すると、**オリジナルカード (バストレカ)** をゲットできます!



全5種!



▲詳細はこちら

公共交通を未来につないでいくために

本市では、市内の公共交通が将来にわたり維持されるよう、公共交通の利用促進に向けたさまざまな取り組みを進めています。例えば、公共交通の利便性を高めるため、交通系ICカードの普及や、また、市民の皆さんが公共交通を利用するきっかけづくりとして、「山口市ノーマイカーデー」などの取り組みを進めています。

マイカーは確かに便利な移動手段ですが、公共交通を未来につないでいくためにも、生活の中に少しずつ公共交通を取り入れ、みんなで支えていければと思います。普段、公共交通を使うことのない方も、まずは月に1回を目標に公共交通を利用してみませんか?

未来へ紡ぐ合併の足跡

～20年の歩みと次なるステージ～

final

20th Anniversary

本年10月には、新しい山口市が誕生して20周年を迎えます。これまでのまちづくりについて振り返るとともに、まちづくりに関わる方の声をご紹介します。

問 広報広聴課 ☎083-934-2753

“食”と“交流”の観光地域づくり

本市の北部エリアは、昼夜の寒暖差や清流の恵みを生かして育まれるお米をはじめ、りんご・桃・ぶどうなどの果物、乾しいたけ、やまのいも、和牛など、多彩で個性豊かな食の魅力にあふれています。

新市誕生後は、これらの農畜産物のブランド化に加え、加工品の開発や6次産業化の推進など、付加価値を高める取り組みを進め、その魅力を市内外へ広く発信してきました。さらに、道の駅など地域の交流拠点施設の機能を充実させ、食と人が集まり、地域の人々と来訪者が自然につながる観光地域づくりを進めています。

豊かな食の魅力磨き上げ



あとう和牛

繁殖から肥育までの一貫生産体制を確立。



果実の6次産業化

りんごや梨、ぶどう、桃などの果実を使った加工品も人気。



山口あぶトマト

選果機を整備し、品質・出荷体制の向上を実現。

食 × 交流



地域資源を生かす 交流拠点づくり



特産品販売所「南大門」
特産品の販売力を強化。

現在リニューアル工事中



道の駅「仁保の郷」

地元農産物などの販売スペースを拡大し、旬の味覚に出会える交流拠点。地域情報の発信力もアップ。

R1.9 リニューアルオープン



道の駅「長門峡」

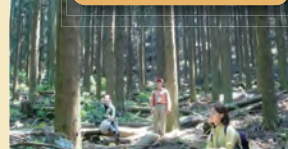
R7.4 リニューアルオープン



重源の郷 体験交流公園

茅葺古民家の改修や展望台整備、水生植物池の再生整備。

H19 グランドオープン



徳地森林セラピー基地

自然を生かした健康増進と交流のプログラムを展開。

interview

北部エリアの印象は？

北部エリアは、昔ながらの原風景が広がる中山間地域で、手つかずの自然が残されているため、工夫次第でさまざまなアイデアを生かせる無限の可能性を秘めている場所だと感じています。現在は、こうした自然を活用して、健康的で長生きできる牛を育てたいとの思いから、この辺りでは難しいと言われていた放牧酪農を行っています。以前は、一頭の牛からいかに多くの牛乳がとれるかを重視していましたが、自然の牧草を使用し、安全・安心な食を届けられることができる、循環型の酪農等を目指しています。

また、北部エリアの大自然は、子どもたちの学びや遊びに適したフィールドです。自然と触れ合いながら、野菜や果物などの農産物を育てて収穫するといった、一連の農業体験ができる環境は、子どもたちの教育にも、より良い影響を与えるのではないかと考えています。

今後のエリア活性化に期待することは？

北部エリアには、農畜産物に関連する団体や企業等が多数あり、それぞれが地域資源を生かした特色のある取り組みを展開しています。今後、そうした団体や企業同士が、互いの強みを生かして連携することによって、相乗効果が生まれ、さらなる価値が創出されることを期待しています。そして、農畜産物の販売や観光資源などの魅力を発信することで、地方と都市部との双方のつながりを構築していきたいと考えています。

北部エリアに行ってみると、食や自然を体験してみたいと思う人が増えることで、「人の動き」が生まれ、さらなる交流や関係づくりにもつながっていくと思います。



乳製品をはじめ、米やりんごの加工品など、本市北部の魅力が詰まった商品は、各道の駅で購入できます。

山口県農業法人協会
坂本 賢一 理事

山口市誕生 20 周年記念式典

本市は 10 月に新市誕生 20 周年を迎えます。この節目となる年を記念して、山口市誕生 20 周年記念式典および特別講演会を開催します。

問 総務課 ☎ 083-934-2908

10/4

土

10:00 ~ / 開場 9:00

山口市民会館大ホール (入場無料)

【記念式典】10:00 ~ 11:00

- 20 年を振り返る映像の視聴
 - 功労者表彰
 - 友好都市からのビデオメッセージ披露 ほか
- ※式典の内容は変更となる場合があります。

【20 年のあゆみパネル展示等】

市民会館ロビーで、山口市の 20 年を振り返るパネル展示を行います。
その他、物産販売コーナー等の催しも出展予定ですので、ぜひ、お立ち寄りください。

特別講演会 11:15 ~ 12:15 (予定)

～地域それぞれの個性を活かした
まちづくりのこれから～

山口市は、豊かで美しい自然と調和した県都として、独自の歴史・文化が脈々と受け継がれ、現在の町並みが形づくられてきました。こうした山口市の持つ個性や魅力を踏まえ、これからのまちづくりの発展性や可能性等について、歴史を読み解きながら講演していただきます。



講師
西村幸夫 氏

プロフィール

1952 年福岡県生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。東京大学教授等を経て、現在は、國學院大学観光まちづくり学部長・教授、東京大学名誉教授。主な著書に『県都物語』、『まちを想う』など。

申 記念式典・特別講演会 (定員は抽選 500 人程度) は事前申し込みが必要です。9 月 1 日 (月) ~ 17 日 (水・消印有効) に、右の二次元コードまたはハガキで、〒住所、氏名、電話番号、申し込み人数 (3 人まで) を記入し、〒753-0075 中園町 7-40 c-court1F ㈱コア内「山口市誕生 20 周年記念式典申し込み事務局」まで。
※抽選結果は、9 月 18 日 (木) 以降に、申込者全員に E メールまたは郵便でお知らせします。



山口県央連携都市圏域

山口ゆめ回廊

YAMAGUCHI YUME KAIRO

圏域の市町におでかけしよう！

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域 7 市町の
イベント情報

美祢 美祢線マルシェ in 於福駅

於福駅で恒例のマルシェを開催します。美祢市住みます芸人の進行のもと、キッチンカーでの飲食物販売や、ステージイベントなどを予定しています。



▲詳細はこちら

日時 9 月 14 日 (日) 16 時開始
場所 於福駅前広場 (於福町上)
問 JR 美祢線利用促進協議会
☎ 0837-52-1128

萩 世界遺産登録 10 周年記念 帆船「みらいへ」がやってくる

幕末に萩藩が恵美須ヶ鼻造船所で建造した丙辰丸と庚申丸にちなみ、帆船「みらいへ」の船内見学や体験航海等を実施します。



▲詳細はこちら

期間 9 月 6 日 (土) ~ 7 日 (日)
場所 萩漁港 (椿東 4160-61) 等
問 萩市文化財保護課世界文化遺産室
☎ 0838-25-3299

津和野 「安野光雅のふるさと津和野」展

安野光雅が自分の子ども時代を振り返り、遊びや生活などの思い出を絵日記風に綴った作品の中で、ふるさと津和野にまつわる作品を中心に展示します。



▲詳細はこちら

期間 9 月 12 日 (金) ~ 12 月 10 日 (水)
所 問 安野光雅美術館 (後田イ 60-1)
☎ 0856-72-4155

山陽小野田 大学開放デー

山口東京理科大学のキャンパスを会場として、普段見ることができない大学の施設や講座、科学実験などを実際に見て、聞いて、体験できるイベントです。



▲詳細はこちら

日時 9 月 28 日 (日) 10 時開始
所 問 山口東京理科大学 (大学通 1-1-1) ☎ 0836-88-4515

宇部 TOKIWA グルメフェス

ときわ公園に、キッチンカーや飲食店が大集合します。また、子どもから大人まで楽しめるステージイベントも日ごとに開催します。



▲詳細はこちら

期間 9 月 13 日 (土) ~ 15 日 (月・祝)
場所 ときわ公園 (則貞 3-4-1)
問 LiNo ☎ 080-6664-0337

防府 没後 400 年記念 毛利輝元 - 家の儀あいつづき候 -

今年は毛利輝元が亡くなり 400 年の節目の年です。偉大な父祖の業績を引き継ぎ、激動の時代に毛利家を守り抜いた生涯を紹介します。



▲詳細はこちら

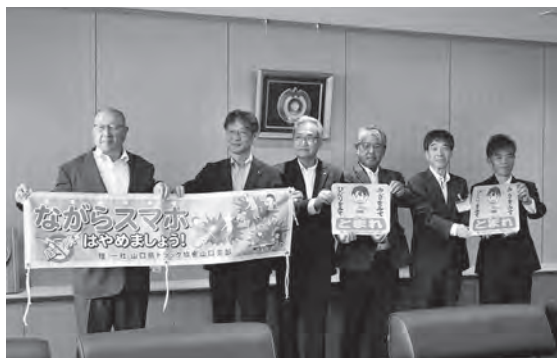
期間 9 月 12 日 (金) ~ 10 月 26 日 (日)
所 問 毛利博物館 (多々良 1-15-1)
☎ 0835-22-0001



ウェブサイト
でも公開中

「交通安全横断幕・ストップマーク」の贈呈式を行いました

一般社団法人山口県トラック協会山口支部のご厚意により、市内の小・中学校に交通安全横断幕とストップマークをご寄贈いただき、7月11日（金）に贈呈式を行いました。寄贈される物品は、横断幕58枚、ストップマーク173枚で、通学路への掲出や歩道への貼り付けなどにより、歩行者が横断する際の注意喚起と児童生徒のながらスマホを防止するといった、交通安全意識の向上を図ります。



▲記念撮影の様子

一般社団法人山口県トラック協会山口支部の水津典義支部長は「横断幕やストップマークが子どもたちの目に触れ、読んでもらえることで、登下校や日常生活の中で事故防止につながることを願っている。トラック協会も地域の皆さんと一丸となり、安全なまちづくりに取り組んでいくため、子どもたちが元気に安全に学校生活を送り、楽しい夏休みが送れるよう、心からお祈り申し上げます」。

市長は「運送業界の健全な発展に努められる中で、交通安全にもしっかりと取り組んでいらっしゃることに心から感謝申し上げます。ご寄贈いただいた横断幕やストップマークを小・中学校の校内や通学路に設置することで、子どもたちの交通安全への意識改革につなげたい」と感謝の意を伝えました。
固 生活安全課 ☎ 083・934・2765

「暑い夏を乗り切ろう！熱中症対策標語コンテスト」の表彰式が行われました

7月23日（水）に「暑い夏を乗

り切ろう！熱中症対策標語コンテスト」の表彰式が行われました。このコンテストは、令和3年3月に本市と包括連携協定を締結した大塚製薬株式会社様が、市民の健康増進と地域の活性化に関する取り組みの一環として、市内の小・中学校の児童生徒を対象に作品の募集が行われたもので、応募のあった179作品の中から、小学生の部と中学生の部の優秀作品に選ばれた8作品を表彰しました。



▲記念撮影の様子

表彰にあたり、大塚製薬山口出張所の古川保教所長は「熱中症は誰にでも起こりうる健康リスク。特に成長期の小・中学生の皆さんが正しい知識を持ち、予防の行動をとることはとても大切なこと。

皆さんの標語が地域の安全と健康を守る力になることを心から願っている」と述べられました。

市長は「市民の皆様に標語をしっかりとお知らせして、熱中症にかからないような態勢がとれるようにしていきたい。また、受賞された皆さんも熱中症対策をして、楽しい夏休みを過ごしていただきたい」と受賞者を称えました。

固 スポーツ交流課 ☎ 083・934・2875

山口市地域おこし協力隊 着任式を行いました

本市では、都市圏在住者等を「地域おこし協力隊」として任用し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし活動を行いながら、協力隊の定住・定着を図ることを目的とした取り組みを進めています。

このたび、湯田地域において「廃業旅館の新たな活用等を通じた「住んでよし・訪れてよしの湯田温泉」まちづくり」をテーマに活動する桑折司さんと桑折理絵さんが着任されることから、8月5日（火）に着任式を行いました。

市長は「本市の地域おこし協力隊の新たな仲間として、ご夫婦でお迎えできることを、心より嬉しく思っている。これからお二人が

活動される湯田地域は歴史に彩られたまちであり、昨年ニューヨー
ク・タイムズ紙に掲載されたこと
から、観光客が増え、宿泊需要の
ある地域。お二人には、使われな
くなった旅館をゲストハウスに生
まれ変わらせる取り組み等を行っ
ていただく。ぜひ、湯田地域に新
しい風を吹かせていただきたい
と激励しました。



▲記念撮影の様子

桑折司さんは「魅力的な湯田温
泉で、地域の一員として、皆さん
と一緒に活動できることが楽しみ。
観光客の方と地域の方が共に楽し
めるような拠点づくりをしていき
たい」、桑折理絵さんは「地域の皆
さんと温かい関わりを重ねながら、
湯田温泉の魅力を国内外に丁寧に
発信したい」と今後の抱負を述べ

られました。
☎ 観光交流課 083・934・
2810

羽毛リサイクル回収ボックス の設置式を開催しました

羽毛リサイクル（UMOUプロ
ジェクトin山口）は山口県共同募
金会が平成27年から実施している
事業です。使わなくなった羽毛製
品を市民から回収して羽毛のリサ
イクルを行い、そのリサイクルの
収益金の一部が、赤い羽根共同募
金を通じて地域福祉活動に活用さ
れています。

これまで、回収協力店での回
収が行われていましたが、本市の
公共施設として初めて、山口市リ
サイクルプラザ本館に回収ボック
スを設置するにあたり、8月8日
（金）に、羽毛リサイクル回収ボッ
クスの設置式を開催しました。

市長は「本市のごみ集積所では、
羽毛布団の収集をしておらず、そ
の多くは、山口市リサイクルプラ
ザに隣接する清掃工場に持ち込ま
れ、焼却処理している。今後、羽
毛製品が回収され、羽毛のリサイ
クルが促進されることで、本市に
おける3Rの推進がより一層図ら
れるものと期待している。また、
本プロジェクトを進めることで、
市民の皆様の環境意識の向上を図

るなど、循環型社会の構築に向け
た取り組みをさらに推進していき
たい」とあいさつしました。



▲記念撮影の様子

山口県共同募金会の大窪正行会
長は「市民の皆さんの環境問題や
福祉についての関心が高まり、羽
毛の回収量の増加にもつながって
いくことを願っている」、山口市共
同募金委員会の徳永雅典会長は「羽
毛リサイクルの収益金の一部は、
誰もが住み慣れた地域で安心して
暮らせる社会の実現に生かされて
いるため、ぜひ羽毛プロジェクト
にご協力いただきたい」と述べら
れました。

☎ 資源循環推進課 083・
941・2185

表紙の写真

夏休みの思い出のページ

表紙の写真は、仁保にある嘉
村磯多の生家「帰郷庵」で、鮎
を塩焼きにしている様子です。

毎夏、仁保地域では磯多が生
きた時代の農村生活体験を行う
ことで、帰郷庵を核とした地域
交流を図ろうと、地域の方が「鮎
のつかみ取り体験」を行ってい
ます。今夏も、幼児から中学生
までの幅広い年代の子どもたち
とその家族が集まり、約100
匹もの鮎のつかみ取りを楽しん
だ後、地域の方から鮎の塩焼き
づくりを教わっていました。

参加した子どもたちの中には、
魚を触ったことがない子や苦手
な子もいましたが、自分で取っ
て、塩焼きにした鮎の味は格別
なようで、脂ののった鮎を骨ま
でペロリと平らげていました。

また、子どもたちは、虫とり
をしたり、帰郷庵の中を探検し
たりと、仁保の豊かな自然を体
全体で楽しんでいる様子でした。

☎ 広報広聴課 083・934・
2753



▲俊敏に動き回る鮎を追
い込み、素早く捕まえる
子どもたち



イベントカレンダー

9/6 (土)

中原中也の会 第30回大会
「中原中也と朗読」

所 セントコア山口
中 中原中也記念館
☎ 083-932-6430

歌人の福島泰樹氏、3人の詩人たちによる朗読パフォーマンスやトークを通じて、中也と朗読の関係に迫ります。

9/12 (金) ~ 15 (月・祝)

「第3回防長創作会大作品展」

所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

幕末維新や大内時代をテーマにした絵画や造形を展示します。

9/13 (土) ~ 21 (日)

「まにまにのかたち
アール・ブリュット展」

所 山 クリエイティブ・スペース
赤れんが ※休館 9/16 (火)
☎ 083-928-6666



9/14 (日)

ピアノカの魔術師
「#TWO INSTANTS」

所 山口県教育会館ホール
中 山口市文化振興財団
☎ 083-920-6111

ジャズスタンダードナンバーから、懐かしのアニメの曲、今はやりの曲までピアノカの魔術師らしいアレンジでお届けします。



9/21 (日)

れきみんファミリーデー

所 山 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

子ども向けギャラリートークや昔の暮らしを体験できます。



開催中のイベント

9/15 (月・祝) まで

コログルあそびのひゃっかてん
2025

所 山口井筒屋2階
中 山口情報芸術センター
[YCAM]
☎ 083-901-2222

子どもたちの五感を刺激し、新しい発想を生み出す仕掛けがたくさんあります。

企画展「黒鐵から白鐵へ
新小郡鉄道物語」

所 山 小郡文化資料館
☎ 083-973-7071



9/29 (月) まで

企画展
「没後110年 山口の井上馨」

所 山 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

山口市域との関わりを中心に、井上馨の足跡をたどります。



新たな交流

今年の山口の夏は、猛暑や日照りが続く万、季節外れの長雨もあり、日中の外出を控えられた方もおられたことと思います。

こうした中、6月1日に供用開始した「湯田温泉こんこんパーク」は、気温や天候に関係なく過ごせる全天候型の大屋根広場(こんこん広場)を中心に、家族連れなど、多くの方にご利用いただいています。

今月20日には、この広場において、山口県と友好関係にあるアメリカ合衆国ハワイ州の州都であるホノルル市と本市の間で、友好都市提携の調印式を行います。当日は、フラダンスの演舞披露なども行う予定で、会場名の由来でもある湯田温泉に来て欲しい「来ん、来ん？」のとおり、多くの市民の皆様にお越しいただき、共に提携をお祝いしたいと思います。



英語圏都市との交流を検討してきた本市では、この提携を契機に、教育、観光、文化、経済など、さまざまな分野での交流を進め、お互いの「まち」に一層の潤いや活力を生み出していきたいです。

山口市長

伊藤和貴

